

3年生授業シラバス

教育課程表 1

(令和3年度入学生)

共通教科に関する科目 2

専門科目に関する科目 10

(福祉)

福祉科3年(令和3年度入学生)

ケアワーカー フィールド

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
現代文 B			日本史 A	数学 A	体育			コミュニケーション英語 II	介護福祉基礎	生活支援技術	介護過程	介護総合演習	介護実習						こころからの理解			福祉情報	HR							
			地理 A																											

子ども福祉 フィールド

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
現代文 B			日本史 A	数学 A	体育			コミュニケーション英語 II	課題研究				子ども文化				保育音楽	保育技術	介護総合演習	福祉情報	HR								
			地理 A																										

科 目	現代文B	教 科	単位数	学 科	学年
		国語	3	福祉	3
教 科 書	新編現代文B改訂版（大修館書店）				
副 教 材	国語常識ベーシック（数研出版） プレミアムカラー国語便覧（数研出版） 常用漢字の1・2トライ（浜島書店）				
科目の特色 と 学習の目標	近代(明治)以降の文章を読んで、次のことを目指します。 ・読む力や考える力を高めます。 ・感受性を豊かにします。 ・表現する力を向上させます。 ・読書に親しむ素地を身に付けます。				
年 間 計 画					
前 期	随想「『迷う』力のすばらしさ」 小説「ざしきわらし」「ナイン」		後 期	随想「ももこのいきもの図鑑」 小説「空飛ぶ魔法のほうき」	
	評論「情報の力関係」 詩歌「六月」他 社会生活と文章			評論「ゴリラの思いやり」 小説「山月記」	
学習内容 (授業概要)	「随想」筆者の個性的なものの見方を読み取ります。 筆者の生き方・考え方を理解します。 「小説」どんな人物や世界が描かれているかを読み取り、 文章表現のおもしろさを味わいます。 人生についての考えを深めます。 「評論」筆者の言いたいことを読み取ります。 相手に伝えるために、どう書くべきか考えます。 「詩歌」作者の思いを読み取り表現を味わいます。				
評価の観点 評価の方法 右記を総合的 に評価します	・授業の取り組み方（出席状況・授業態度等） ・提出物（授業ノート、課題プリント、長期休業の課題など） ・定期テスト、課題テスト、授業中の小テストの結果				

科 目	日本史 A	教 科	単位数	学 科	学年
		地理歴史	2	福祉	3
教 科 書	現代の日本史 (山川出版社) 標準高等地図—地図でよむ現代社会— (帝国書院)				
副 教 材	アカデミア世界史 (浜島書店)				
科目の特色 と 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ペリー来航以後の近代史を詳しく学習し、私たちが過去とのつながりの中で歴史的な存在として生きていることを実感できるようになることを目指します。 ・戦後の日本の歴史を学び、現代日本が国内的・国際的に抱える諸問題について考える力を養います。 				
年 間 計 画					
前 期	<ul style="list-style-type: none"> ・原始時代から江戸前半までの略史 ・開国と明治維新 ・近代国家の形成と発展 	後 期	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次世界大戦と日本 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・産業化の推進と国民生活の変化 ・第1次世界大戦と大正デモクラシー 		<ul style="list-style-type: none"> ・占領下の日本 ・日本の自立と発展 ・冷戦から新しい時代へ 		
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・中学時に学んだ原始時代から江戸前半までの概要を復習し、ペリー来航以降の近現代の日本史を詳しく学びます。 ・明治から昭和初期までの日本の歩みに着目し、日本がどのように近代化を達成し、戦争の時代に入っていったかを、国際的・国内的視点から詳しく学習します。 ・敗戦後の日本が、どのように経済復興・発展を達成したか、また冷戦が終結してグローバル化が進む今日、日本はどのような問題を抱えているかなどについて、国際的・国内的視点から学習し、日本社会を見る目を養います。 				
評価の観点 評価の方法 右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況 (出席状況、授業態度、挙手発言) ・提出物 (プリント・ファイル、問題集など) ・定期考査や問題集の確認テストの得点結果 				

科 目	地理 A	教 科	単位数	学 科	学 年
		地理歴史	2	福祉	3
教 科 書	基本地理 A (二宮書店) 標準高等地図－地図でよむ現代社会－ (帝国書院)				
副 教 材	明解世界史図絵 エスカリエ (帝国書院)				
科目の特色 と 学習の目標	世界の諸地域における地理的な情勢や諸課題について地理的な見方や考え方を培います。それらについて興味関心をもち、調査、情報整理、発表・意見交換を行うことのできる力を身に付けることを目標とします。				
年 間 計 画					
前 期	<ul style="list-style-type: none"> ・地球儀や地図がとらえる現代社会 ・地形と私たちの暮らし 	後 期	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各地の生活・文化 ・地球的諸課題 ・地図とGISの利用 ・生活圏の諸課題と地域調査 		
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・GISや地図帳などのさまざまな種類の地図を読図したり、身近な主題図を作成したりする能力を身に付け、地理的なものの見方や表現力、問題提起能力を養う。 ・世界の自然や人々の生活について、各自で課題追究学習を行い、その結果についてパソコン等を利用して発表して、情報収集能力やプレゼンテーション能力を身に付ける。 ・グローバル化が進み、さまざまな地球的課題が起きている現代、今後の取組について基礎的な知識を獲得し、主権者として、世界、日本、地域を担うための問題意識や能力を身に付ける。 能力を養う。 				
評価の観点 評価の方法 右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況 (出席状況、授業態度、挙手発言) ・提出物 (プリント・ファイル、問題集など) ・定期考査や問題集の確認テストの得点結果 				

科 目	数学A (ケアワーカー)	教 科	単位数	学 科	学 年
		数学	2	福祉	3
教 科 書	高校数学A新訂版 (実教出版)				
副 教 材	ステップノート 数学A新訂版 (実教出版) 高校数学Aサブノート (実教出版)				
科目の特色 と 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場合の数と確率、整数の性質について学習します。 ・ 中学校では書き上げることで求めた場合の数、確率を計算によって求めます。 ・ 社会人として必要となる計算力の向上を図ります。 				
年 間 計 画					
前 期	第1章「場合の数と確率」 第1節 場合の数 第2節 確率	後 期	第2章「整数の性質」 第1節 整数の性質 第2節 ユークリッドの互除法と不定方程式 第3節 整数の性質の活用		
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにします。 ・ 様々な確率を学習すると同時に、今後必要となる計算力を付けられるようにします。 ・ 整数の性質についての理解を深め、それを事象の考察に活用できるようにします。 				
評価の観点 評価の方法 右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習状況 (出席状況、授業態度) ・ 提出物 (ノート、教科担任による課題、春・夏・冬休みの課題) ・ 定期考査、春・夏・冬休みの課題テスト 				

科 目	数学A (子ども福祉)	教 科	単位数	学 科	学 年
		数学	2	福祉	3
教 科 書	高校数学A新訂版(実教出版)				
副 教 材	ステップノート 数学A新訂版(実教出版) 高校数学Aサブノート(実教出版)				
科目の特色 と 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・場合の数と確率、整数の性質について学習します。 ・中学校では書き上げることで求めた場合の数、確率を計算によって求めます。 ・社会人として必要となる計算力の向上を図ります。 				
年 間 計 画					
前 期	第1章「場合の数と確率」 第1節 場合の数 第2節 確率	後 期	第2章「整数の性質」 第1節 整数の性質 第2節 ユークリッドの互除法と不定方程式 第3節 整数の性質の活用		
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにします。 ・様々な確率を学習すると同時に、今後必要となる計算力を付けられるようにします。 ・整数の性質についての理解を深め、それを事象の考察に活用できるようにします。 				
評価の観点 評価の方法 右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況(出席状況、授業態度) ・提出物(ノート、教科担任による課題、春・夏・冬休みの課題) ・定期考査、春・夏・冬休みの課題テスト 				

科 目	体 育	教 科	単 位 数	学 科	学 年
		保健体育	3	福祉	3
教 科 書	現代高等保健体育（大修館書店）				
副 教 材	現代高等保健体育ノート				
科目の特色 と 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたり運動に親しむことができるようにします。 ・運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにします。 ・公正、協力、責任や健康、安全に留意する態度を身に付けます。 				
年 間 計 画					
前 期	体育の授業について 体づくり運動 集団行動 体育理論	後 期	ソフトテニス、陸上（男子） サッカー、陸上（女子） ソフトボール、陸上（女子） 体育理論		
	ソフトボール、バスケットボール（男子） バドミントン、ダンス（女子） ダンス、サッカー（女子） 体育理論		ダンス（男子） ソフトボール（女子） バドミントン（女子） 体育理論		
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・体育を学習する意味を理解し学習意欲を高めます。 ・集団の約束や、決まりを身に付けます。 ・種目の特性を理解し、個人やチームの能力を把握します。 ・試合等を通して種目の楽しさを味わいながら課題を設定し、その解決に向けて練習を工夫します。 ・チームに応じた作戦を立て試合ができるようにします。 ・ダンスの特性を理解しイメージやテーマを全身で表現し、リズムに乗って踊る楽しさを味わいます。 ・体育を学ぶことで運動やスポーツを生涯にわたって継続していくための基礎を築いていることを理解します。 				
評価の観点 評価の方法 右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に積極的に取り組んでいるか。 （運動技能、参加意欲、授業態度、出席状況等）				

科 目	コミュニケーション英語Ⅱ (ケアワーカー)	教 科	単位数	学 科	学年
		外国語	2	福祉	3
教 科 書	VISTA English Communication II (三省堂)				
副 教 材	基本ワーク (増進堂) プレップイングリッシュ (旺文社)				
科目の特色 と 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今までの学習によって身に付けた基礎基本をもとに、より高度な英語を習得することを目標にします。 ・ 身のまわりの話題から、地球規模の環境問題に至るまでの様々な題材を取り上げ、読む、書く、話す、聞くといった技能をバランスよく高めます。 				
年 間 計 画					
前 期	LESSON 1 Birthdays, Here and There LESSON 2 The Emerald Isle	後 期	LESSON 5 Flowers in the Tomb LESSON 6 Becoming the Best		
	LESSON 3 The Sagrada Familia LESSON 4 Nobel Prize Episodes		LESSON 7 The Galapagos Islands LESSON 8 Shodo, Old and New ENJOY		
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉、ボランティア等に関連した分野、職業で扱うような英語表現を授業に盛り込み、より社会的な視点を踏まえ、各課の題材を学習します。 ・ 各課の冒頭に「達成目標」を明示し、言語の働きを詳細に学習することで、実際における言語の使用場面に役立てるようにします。 ・ 英語を通じて、積極的に他者とコミュニケーションを図ろうとする能力を養います。 ・ 文法を学習した後、実際の使用場面で役立てられるように練習します。 				
評価の観点 評価の方法 右記を総合的 に評価します	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習状況 (出席状況、授業に対する意欲、態度等) ・ 提出物 (授業プリント、課題プリント、長期休業における課題等) ・ 定期考査 ・ 授業時の小テスト ・ パフォーマンステスト 				

科 目	コミュニケーション英語Ⅱ (子ども福祉)	教 科	単位数	学 科	学年
		外国語	4	福祉	3
教 科 書	VISTA English Communication II (三省堂)				
副 教 材	基本ワーク (増進堂) プレップイングリッシュ (旺文社)				
科目の特色 と 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習によって身に付けた基礎基本をもとに、より高度な英語を習得することを目標にします。 ・身のまわりの話題から、地球規模の環境問題に至るまでの様々な題材を取り上げ、読む、書く、話す、聞くといった技能をバランスよく高めます。 				
年 間 計 画					
前 期	LESSON 1 Birthdays, Here and There LESSON 2 The Emerald Isle LESSON 3 The Sagrada Familia	後 期	LESSON 7 The Galapagos Islands LESSON 8 Shodo, Old and New		
	LESSON 4 Nobel Prize Episodes LESSON 5 Flowers in the Tomb LESSON 6 Becoming the Best		LESSON 9 Water World LESSON 10 A Long Friendship I'm Afraid of <i>Manju!</i>		
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育等に関連した分野、英語の絵本や童謡などで使われる英語表現を授業に盛り込み、より実践的な視点を踏まえ、各課の題材を学習します。 ・各課の冒頭に「達成目標」を明示し、言語の働きを詳細に学習することで、実際における言語の使用場面に役立てるようにします。 ・英語を通じて、積極的に他者とコミュニケーションを図ろうとする能力を養います。 ・文法を学習した後、実際の使用場面で役立てられるように練習します。 				
評価の観点 評価の方法 右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況 (出席状況、授業に対する意欲、態度等) ・提出物 (授業プリント、課題プリント、長期休業における課題等) ・定期考査 ・授業時の小テスト ・パフォーマンステスト 				

科目	介護福祉基礎 (ケアワーカー)	教科	単位数	学科	学年
		福祉	2	福祉	3
教科書	介護福祉基礎 (実教出版)				
副教材	最新 介護福祉士養成講座 第2巻 社会の理解 (中央法規出版) 見て覚える 介護福祉士 国試ナビ (中央法規出版)				
科目の特色 と 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活と社会保障制度を関連付け、その現状と課題について学びます。特に、介護保険制度、障害者総合支援制度などの福祉に関わる諸制度の仕組みを学習します。 2年生での学びを更に深め、介護福祉士国家試験に向けた実践力を身に付けます。 				
年 間 計 画					
前 期	介護保険制度のあり方 ・ 介護保険制度創設の背景と目的	後 期	障害者の自立支援を担う法制度のあり方 ・ 障害者総合支援法の仕組み		
	・ 介護保険制度の仕組み、組織、役割、動向 ・ 介護保険制度における専門職の役割		介護実践にかかわる諸制度 ・ 保健医療に関わる諸施策 <u>国家試験対策</u>		
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険制度創設の背景と目的について理解し、法改正の背景と方向性について理解を深めます。 介護保険の財政、保険給付の対象、介護サービスの流れなど、介護保険制度の仕組みについて学びます。 障害者総合支援法の目的、創設背景について学び、事業者や施設等の役割や機能の違いを理解します。 保健医療にかかわる諸施策について学びます。 介護福祉士国家試験の問題を解く実践力を身に付けます。 				
評価の観点 評価の方法 右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> 授業に主体的に取り組んでいるか。 (出席の状況・意欲・態度・発表など) 課題や提出物は期限を守って提出できたか。 定期考査、課題テスト 				

科 目	生活支援技術 (ケアワーカー)		教 科	単位数	学 科	学年
			福祉	2	福祉	3
教 科 書	生活支援技術 (実教出版)					
副 教 材	見て覚える 介護福祉士 国試ナビ (中央法規出版)					
科目の特色 と 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活の援助として、生活支援技術を身に付けます。 ・ 生活支援技術を総合的に活用し実践できるようにします。 ・ 豊かな福祉観を養います。 ・ 福祉の専門職としてサービスの提供を創造する能力と実践的な態度を育てます。 					
年 間 計 画						
前 期	介護福祉士 国家試験に向けて	移動移乗 衣服の着脱 排泄 入浴	後 期	生活支援技術の まとめ	総合問題 ・ 過去問題	
	事例研究	介護過程		3年間の総復習	応用問題 ・ 模擬問題	
学習内容 (授業概要)		<p>生活支援を受ける人がどのような援助を必要としているかを具体的に把握し、個別介護を行う力を身に付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「介護過程」……科学的な問題解決の手法を学びます。 ・ 「事例研究」……実習中に事例研究のための情報収集を行い、その事例をまとめる方法を学びます。 ・ 「国家試験過去問題」……積み重ねてきた基本の技術をもとに、国家試験の過去問題に挑戦します。 ・ 「職業観の育成」……基本的人権の尊重の精神を基本とした介護従事者としての専門性を身に付け、職業観を養います。 				
評価の観点 評価の方法 右記を総合的に評価します		<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に主体的に取り組んでいるか。 (出席の状況・意欲・態度・発表など) ・ 仲間と協力して実習に取り組み、記録を取ることができたか。 ・ 課題や提出物は期限を守って提出できたか。 ・ 定期考査、課題テスト、実技テストなど 				

科 目	介護過程 (ケアワーカー)	教 科	単位数	学 科	学 年
		福祉	2	福祉	3
教 科 書	介護過程 (実教出版)				
副 教 材	最新 介護福祉士養成講座 第9巻 介護過程 (中央法規出版) 第2版				
科目の特色 と 学習の目標	他の科目で学習した知識や技術を統合して、介護計画を立案し、介護過程を展開し、適切な介護サービスを提供できる能力を身に付けます。				
年 間 計 画					
前 期	・ 介護過程の実践的展開	後 期	・ 利用者の生活と介護過程の展開 (事例研究)		
	・ 介護実習後の介護過程発表				
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護実習での実践に向けて、アセスメントや計画の立案、実施、評価について学びます。 ・ 具体的事例を用いて介護過程の展開を学びます。 ・ ICFの概念を取り入れ、利用者の潜在能力を引き出し、活用・発揮することの意義について学びます。 ・ 自立度や生活の場に応じた介護、医療、保健との連携協働を必要とする介護、終末期における介護の展開など、様々な利用者の状況に応じた介護過程の展開を学びます。 ・ 介護実践をする上で、利用者を主体とした介護実践計画を考えることが重要であることを学びます。 				
評価の観点 評価の方法 右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に主体的に取り組んでいるか。 (出席の状況・意欲・態度・発表など) ・ 必要な記録を取ることができたか。 ・ 課題や提出物は期限を守って提出できたか。 ・ 定期考査、課題テストなど 				

科 目	介護総合演習 (ケアワーカー)	教 科	単位数	学 科	学 年
		福祉	1	福祉	3
教 科 書	なし				
副 教 材	楽しく学べるマナーの基本 (教育図書) 実習の手引き・実習ノート (本校オリジナル)				
科目の特色 と 学習の目標	事例研究等の学習を通して、 ・専門的な知識・技術を高めます。 ・問題解決能力を養います。 介護過程の学習を通して、 ・意義と役割を理解し、介護過程を展開する能力と態度を育てます。				
年 間 計 画					
前 期	介護実習事前学習 介護過程の展開について アセスメント 介護計画	後 期	介護実習事後学習		
	介護過程の展開について 実施 評価		事例研究		
学習内容 (授業概要)	<p>人間としての尊厳の保持と自立支援の観点から介護過程の意義と役割を理解します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自立生活支援」……利用者を想定し、自立生活を支援するケアマネジメントの過程を理解し、介護過程を作成する力を育てます。 ・「高齢者や障がい者の心理的問題」…介護実習で利用者への対応について理解し、事例研究から援助のポイントについて学びます。 ・「事例問題」……介護の基本や原則を身に付け、その上で、事例設定を理解する力を育成します。 				
評価の観点 評価の方法 右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に主体的に取り組んでいるか。 (出席の状況・意欲・態度・発表など) ・仲間と協力して実習に取り組み、記録を取ることができたか。 ・課題や提出物は期限を守って提出できたか。 ・定期考査、課題テストなど 				

科 目	介護実習 (ケアワーカー)	教 科	単位数	学 科	学 年
		福祉	6	福祉	3
教 科 書	なし				
副 教 材	介護実習の手引き 介護実習ファイル				
科目の特色 と 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉に関する各科目において習得した知識と技術の統合を図ります。 ・ 社会福祉現場における介護実習を通して、適切かつ安全な介護ができる実践的能力と態度を育成します。 				
年 間 計 画					
前 期	介護実習Ⅱ－① 特別養護老人ホームでの実習 9日間	後 期	なし		
	介護実習Ⅱ－② 特別養護老人ホームでの実習 16日間				
学習内容 (授業概要)	<p>現場実習を通して学ぶべき内容を理解します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「介護実習」……実習先の概要、業務内容、実習内容を理解します。また、介護の専門職として必要な知識、技術を学びます。 ・ 「介護過程」……25日間の特別養護老人ホームでの実習で、介護過程の展開を学びます。アセスメントから介護計画の立案、実施、評価までの一連の流れを学習します。 				
評価の観点 評価の方法 右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習に主体的に取り組んでいるか。 (出席の状況・意欲・態度など) ・ 仲間と協力して実習に取り組み、記録を取ることができたか。 ・ 課題や提出物は期限を守って提出できたか。 (実習日誌など) ・ 施設の実習指導者の評価など 				

科 目	こころとからだの理解 (ケアワーカー)	教 科	単位数	学 科	学年
		福祉	3	福祉	3
教 科 書	こころとからだの理解 (実教出版)				
教 材	最新 介護福祉士養成講座 第12巻 発達と老化の理解 (中央法規出版)				
科目の特色 と 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の身体的機能・知的機能の特徴と、それが日常生活にどのように影響しているのかを学習します。 ・高齢者に多い症状や疾病の特徴を理解し、その留意すべき点について理解します。 				
年 間 計 画					
前 期	老化に伴うからだの変化と日常生活 ・老化に伴う身体的機能の変化と日常生活への影響	後 期	高齢者と健康 ・高齢者の症状・疾患の特徴 ・高齢者に多い症状・訴えとその留意点		
	・老化に伴う知的機能の変化と日常生活への影響		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に多い病気とその留意点 ・保健医療職との連携 ・介護福祉士国家試験対策 		
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の身体的機能・知的機能の変化の特徴と、それが日常生活にどのように影響しているかを理解します。さらに、それらの変化に合わせて、どのような対応・配慮が必要かを学びます。 ・高齢者に多い症状や疾病の特徴を理解して、その留意すべき点について学ぶとともに、保健医療職とどのように連携するのかについて理解します。 				
評価の観点 評価の方法 右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に主体的に取り組んでいるか。 (出席の状況・意欲・態度・発表など) ・必要な記録を取ることができたか。 ・課題や提出物は期限を守って提出できたか。 ・定期考査、課題テストなど 				

科 目	福祉情報	教 科	単位数	学 科	学 年
		福祉	2	福祉	3
教 科 書	なし				
副 教 材	福祉情報活用（実教出版）				
科目の特色 と 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報化の進展と情報の意義や役割を理解します。 ・ 情報モラルとセキュリティについて理解を深めます。 ・ 福祉の各分野で情報および情報手段を自ら活用する力と態度を身に付けます。 				
年 間 計 画					
前 期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報化の進展と生活産業 ・ 情報モラルとセキュリティ 		後 期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報通信ネットワーク ・ 情報の処理・分析・発信 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉分野における情報活用 ・ 情報機器のしくみ 			<ul style="list-style-type: none"> ・ ICTを活用した自立生活支援 	
学習内容 (授業概要)	<p>ネットワーク社会に必要な知識と態度、また、福祉分野における情報活用に関する知識と技術を身に付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ネットワーク社会の危険性、情報モラルについて理解します。 ・ 福祉分野における情報活用の意義や方法について学習します。 ・ コンピュータのしくみを学び、ワードプロセッサ、表計算ソフトの活用方法を身に付けます。 				
評価の観点 評価の方法 右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に主体的に取り組んでいるか。 ・ 目標を立て、努力することができたか。 ・ 課題や提出物は期限を守って提出できたか。 ・ 定期考査（筆記試験、実技試験）など 				

科 目	課題研究 (子ども福祉)	教 科	単位数	学 科	学 年
		家庭	4	福祉	3
教科書	なし				
副教材	なし				
科目の特色 と 学習の目標	子どもの発達段階に応じた遊具や玩具について調査・研究し、作品製作と実演に取り組みます。				
年 間 計 画					
前 期	人形劇についての調査研究 ・ 題材の設定 ・ 台本作成		後 期	作品製作と実演 ・ 人形、大道具製作 ・ 小道具製作 ・ グループ演習 ・ 発表（保育技術発表会）	
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの発達に望ましい児童文化財の研究、考案、作品製作、実演を通し、保育に関する様々な知識や技術を身に付けます。 ・ 習得した技術を活かし、保育技術発表会で発表します。 				
評価の観点 評価の方法 右記を総合的 に評価します	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に主体的に取り組んでいるか。 (出席の状況・意欲・態度・発表・など) ・ 知識や技術は身に付いているか。 (作品・実技テストなど) ・ 課題や研究活動に積極的に取り組んでいるか。 (提出物など) 				

科 目	子ども文化 (子ども福祉)	教 科	単位数	学 科	学 年
		家庭	4	福祉	3
教 科 書	子ども文化 (教育図書)				
副 教 材	色彩 造形の楽しさ (日本色研) 保育技術検定問題集				
科目の特色 と 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊び、表現活動、児童文化財についての知識と技術を身に付けます。 ・積極的に子どもに関わり、豊かで健康的な発達を促す遊びや文化財の提供ができるようにします。 				
年 間 計 画					
前 期	現代の子どもの生活と文化 子ども文化実習 遊びの観察と子ども理解	後 期	子どもと表現活動 ・造形表現技術 子ども文化を支える場		
	子どもと表現活動 ・言語表現活動 子どもと文学 ・お話の創作、素話 保育技術検定1級に向けて		造形表現と壁面構成 創作作品・創作劇の制作 保育技術検定1級に向けて 保育技術発表会		
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもにとって遊びは重要であることを理解します。 ・伝承遊びや遊び実習を通して、遊びの種類と遊具の与え方を考えます。 ・遊具を考案、製作し、保育実習で実践します。 ・お話の創作、素話に取り組みます。(言語表現技術) ・色彩の基本、基礎技法、紙や身近な素材を活用した造形などの学習を応用し、壁面構成に取り組みます。(造形表現技術) 				
評価の観点 評価の方法 右記を総合的 に評価します	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に主体的に取り組んでいるか。 (出席の状況・意欲・態度・発表など) ・提出物は出したか。(課題・プリント・作品) ・知識・技術は身に付いているか。 (定期考査・課題テスト・作品のできばえ、造形表現技術の習得度、言語表現技術の習得度) 				

科 目	保育音楽 (子ども福祉)	教 科	単位数	学 科	学 年
		家庭	2	福祉	3
教 科 書	なし				
副 教 材	全音 標準バイエル・ピアノ教則本（全音楽譜出版社） こどものうた200（チャイルド本社）				
科目の特色 と 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2年次に習得した音楽・リズム表現に関する知識と技術をさらに深化、充実させ、各種の器楽演奏を通して、将来、保育者として活躍するための総合的な技術を習得します。 ・ 学習成果の確認として、保育技術検定に挑戦します。 				
年 間 計 画					
前 期	<ul style="list-style-type: none"> ・ ピアノ演奏（バイエル NO. 95 程度） ・ 童謡歌唱 ・ 童謡弾き歌い ・ ハンドベル演奏 ・ 手遊び歌 ・ 楽典 	後 期	<ul style="list-style-type: none"> ・ ピアノ演奏（バイエル NO. 104 程度） ・ 童謡弾き歌い ・ ハンドベル、トーンチャイム演奏 ・ 楽典 ・ 保育技術検定 1 級 		
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 童謡の弾き歌いにより、より高度な音楽表現技術を身に付けます。 ・ バイエルのピアノ演奏ができるようにします。 ・ 器楽演奏に取組み、ハンドベルとトーンチャイムについては、より難易度の高い曲を演奏できるようにします。 ・ 技術力・表現力を確認するために保育技術検定を受検します。 ・ 楽典を学び、楽譜を読み取り揚言する力の充実を目指します。 				
評価の観点 評価の方法 右記を総合的 に評価します	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に主体的に取り組んでいるか。 (出席状況・意欲・態度・発表・提出物など) ・ 知識や技術は身に付いているか。 (技術力・表現力・定期考査・実技テストなど) ・ ピアノの進捗表、自主練習進捗状況。 				

科 目	保育技術 (子ども福祉)	教 科	単位数	学 科	学年
		家庭	2	福祉	3
教 科 書	子どもの発達と保育 (実教出版)				
副 教 材	保育技術検定問題集 こどものうた200 (チャイルド本社)				
科目の特色 と 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育に関わる知識と技術をいかし、積極的に子どもと関わるための文化財が提供できるようにします。 ・実践的な授業を通して、乳幼児の世話・養護等の保育技術を確実に身に付けます。 				
年 間 計 画					
前 期	保育実習事前指導 ・実習に向けての作品製作及び実演 練習	後 期	保育技術発表会に向けて 発表方法の検討		
	家庭科保育技術検定1級に向けて ・病気の看病と予防 ・乳幼児の世話、怪我や骨折の手当て、 応急処置		発表準備		
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習での部分実習に向けての作品製作と実演練習を実施します。 ・乳幼児の世話や養護について、具体的な対応ができる力を身に付けます。 ・保育技術の定着をめざし、成果と確認のため家庭科保育技術検定 (家庭看護1級) に挑戦します。 				
評価の観点 評価の方法 右記を総合的 に評価します	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に主体的に取り組んでいるか。(出席状況・意欲・態度・発表など) ・提出物を出したか。(課題・プリント) ・知識・技術は身に付いているか。 (定期考査・課題テスト・作品のできばえ、家庭看護技術の習得度) 				

科 目	介護総合演習	教 科	単位数	学 科	学年
		福祉	1	福祉	3
教 科 書	なし				
副 教 材	保育実習の手引き 保育実習記録				
科目の特色 と 学習の目標	・ 保育実習を通じて、他科目で学んだ知識や技術を実践的に身に付けます。				
年 間 計 画					
前 期	保育実習に向けて ・ 事前学習 ・ 幼稚園実習（13日間）		後 期	保育実習事後学習 ・ 自己課題の振り返りと整理 ・ 実習報告と掲示物の作成	
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育実習を通じて、幼稚園における子どもの対応や保育に関する技術を身に付けます。 ・ 保育現場で必要な知識や技術を総合的に習得します。 				
評価の観点 評価の方法 右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に主体的に取り組んでいるか。 (出席の状況・意欲・態度・発表など) ・ 知識や技術は身に付いているか。 (作品・実技テスト・定期考査など) ・ 課題や研究活動に積極的に取り組んでいるか。 (実習記録・提出物など) 				

科 目	福祉情報	教 科	単位数	学 科	学 年
		福祉	2	福祉	3
教 科 書	なし				
副 教 材	福祉情報活用（実教出版）				
科目の特色 と 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化の進展と情報の意義や役割を理解します。 ・情報モラルとセキュリティについて理解を深めます。 ・福祉の各分野で情報および情報手段を自ら活用する力と態度を身に付けます。 				
年 間 計 画					
前 期	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化の進展と生活産業 ・情報モラルとセキュリティ 		後 期	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワーク ・情報の処理・分析・発信 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉分野における情報活用 ・情報機器のしくみ 			<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した自立生活支援 	
学習内容 (授業概要)	<p>ネットワーク社会に必要な知識と態度、また、福祉分野における情報活用に関する知識と技術を身に付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク社会の危険性、情報モラルについて理解します。 ・福祉分野における情報活用の意義や方法について学習します。 ・コンピュータのしくみを学び、ワードプロセッサ、表計算ソフトの活用方法を身に付けます。 				
評価の観点 評価の方法 右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に主体的に取り組んでいるか。 ・目標をしっかりと立て、努力することができたか。 ・課題や提出物は期限を守って提出できたか。 ・定期考査（筆記試験、実技試験）など 				